

Ⅲ－１ 基本的な視点

ここではプラン2027【各論】の前提となる2027年における本市の人口見通しや財政の推移などを整理します。

このままいけば2027年に1万2千人が減少する人口

ビジョン2027（8ページ）に示した通り、2027年における本市の人口は12万4千人余りになる見通しであり、2015（平成27）年からの12年間で現在の1割近い約1万2千人が減少することになります。

また、少子高齢化も進行し、年齢3区分別では、人口の3割が高齢者になる見通しです。

稲沢市の人口構造の見通し（年齢3区分別）



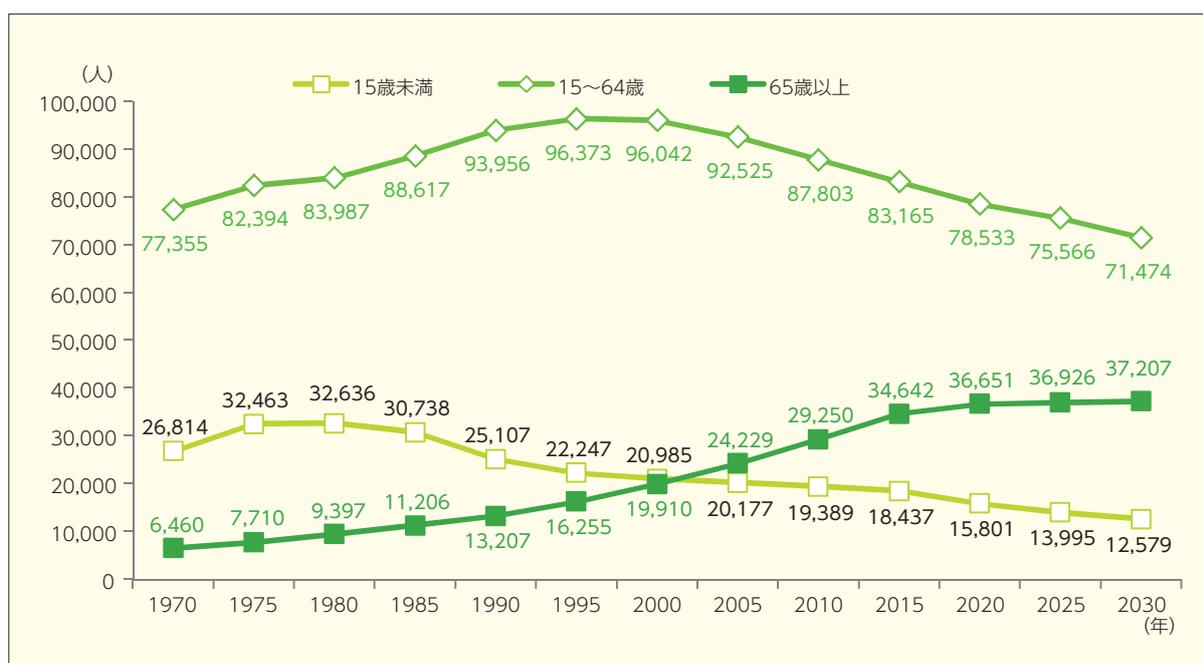
出典：2015（平成27）年までは国勢調査（総務省統計局）、2030年は本市による独自推計結果
※2015（平成27）年までは年齢不詳人口を含みません。

大きく減少する労働力、増え続ける高齢者

年齢3区分別でみた将来人口の変化は、生産年齢人口（15～64歳）が最も大きく、1万人近い減少が見込まれています。また、年少人口（15歳未満）も5千人近く減少する見通しです。つまり、このまま推移すれば、本市の産業・労働を担う中心的な世代が急速に減少していく見通しにあり、今まで就業していない女性や高齢者が新たに職に就かない限り、現在の労働力を維持することが難しくなると考えられます。また、年少人口の減少に伴い、学校の適正規模や地域コミュニティが維持できなくなるなどが懸念されます。

総人口が減少する一方で、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向をたどり、高齢化が一層進む見通しです。すなわち、高齢者の健康的な暮らしを守り、医療や介護における財政負担の増加をいかに抑えるかが、安定的にまちづくりを進めていく上で非常に重要となってきます。

稲沢市の人口見通し（年齢3区分別）



出典：2015（平成27）年までは国勢調査（総務省統計局）、2020年以降は本市による独自推計結果
 ※2015（平成27）年までは年齢不詳人口を含みません。

高齢者世帯・高齢者単身世帯の増加

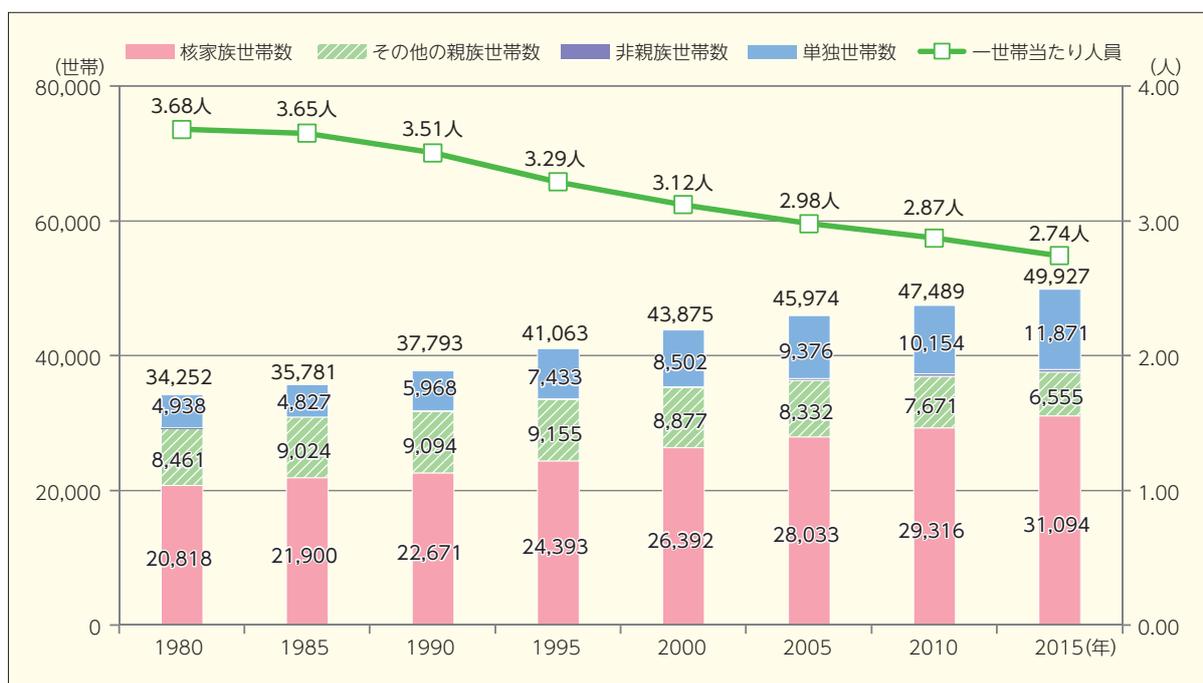
核家族化に伴い、一般世帯数はこれまで増加してきました。将来的に本市の人口は減少すると推計されますが、世帯数については、今後10年間、増加あるいは横ばいの傾向が続くと予想されます。

世帯数増加の理由としては、晩婚化や未婚化の影響による単身世帯数の増加が挙げられます。また、高齢化が進行することで、高齢夫婦のみの世帯あるいは高齢者の単身世帯の増加も予想され、独居高齢者の社会的孤立が懸念されます。

地域福祉や防災などに関しては、自助・共助・公助*のバランスが重要ですが、自助や共助の力が弱くなり、公助への依存度が大きくなることも懸念されます。

*一般世帯数＝総世帯数－施設等の世帯（寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊営舎内居住者、矯正施設の入所者、その他）

稲沢市の一般世帯数と世帯人員の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）

普通会計※の財政状況の推移

過去10年間の本市の歳出については、職員数の削減などにより人件費の抑制に取り組んでいるものの、扶助費※などの増加を一因として歳出全体としては、徐々に増加しています。高齢者数の増加により今後も扶助費などの増加は避けられないとともに、公共施設の老朽化に伴う建替えや維持補修費の増加などが影響し、歳出規模の拡大は続いていくと予想されます。

一方、過去10年間の歳入については、市税収入はリーマンショックの影響で落ち込んで以降、ほぼ200億円程度で推移していますが、生産年齢人口の減少により個人市民税などの減少が懸念されます。また、市債※への依存度が徐々に増加しています。

地方交付税※の削減

合併団体は、普通交付税の優遇措置として、合併前の市町村ごとに算定する「合併算定替」を選択できます。合併算定替は、合併した年度とこれに続く10年間適用された後、5年間で段階的に削減され、17年目からは現団体を基準とした「一本算定」が適用されます。

本市の場合、2016（平成28）年度から段階的に削減され、2021年度には一本算定に切り替わります。一本算定の適用により、地方交付税は2016（平成28）年度算定ベースで約14.3億円の減収が見込まれます。

合併特例債の発行期限

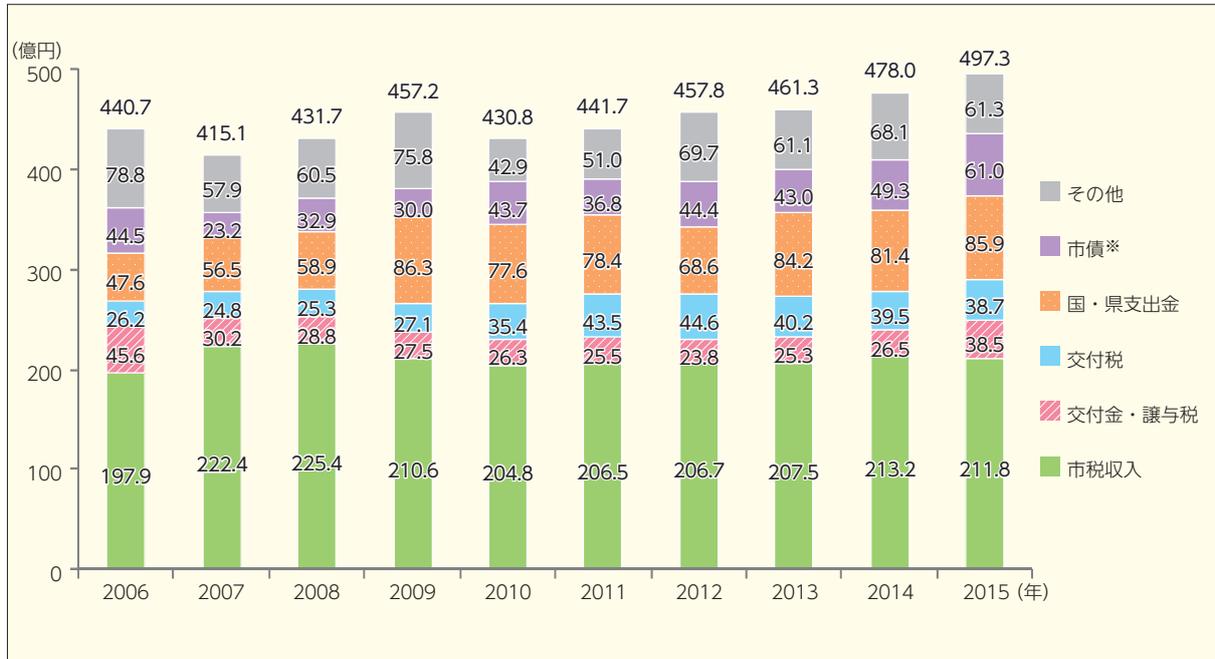
合併団体は、元利償還金の7割が普通交付税で後年度措置される「合併特例債」を発行できます。合併特例債は、合併した年度とこれに続く10年間発行できますが、東日本大震災を受けて被災市町村は20年、それ以外の市町村は15年に期間が延長されました。

本市の場合、2020年度に合併特例債の発行期限を迎えます。これまで合併特例債に依存してきた財政体質を見直す必要があります。

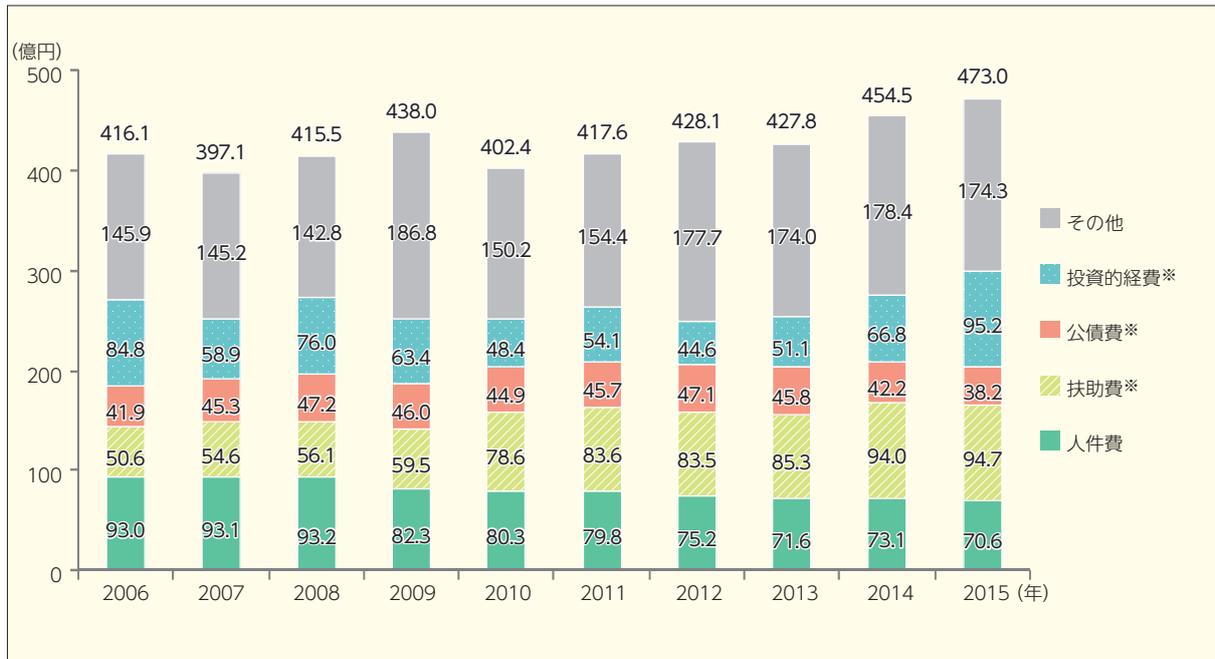


過去 10 年間の本市の財政状況の推移 (普通会計※)

本市の歳入決算額の推移



本市の歳出決算額の推移



出典：稲沢市決算カード

※項目ごとに端数処理しているため積上げた合計額と歳出総額が一致しません。